

## ユニセフ講座

世界の状況を知り、国際理解を深める講座です。今年、JICA岩手デスクに着任された市川雅美さんを講師に、JICA海外協力隊で東アフリカのウガンダに派遣された経験から、現地の様子や環境教育についてお話しさせていただきます。



▲市川さんの活動の様子

**日時** 2023年 **9月30日(土)** 10:00~12:00  
**会場** 岩手県公会堂 26号室 **定員** 50名  
**内容** 「“アフリカの真珠”からの学び ~JICA海外協力隊の経験より~」  
**講師** JICA岩手デスク 市川雅美さん  
**受付** 9月1日~ 岩手県ユニセフ協会まで 電話、FAXで



## ユニセフ出前講座

岩手県ユニセフ協会では、世界の子どもの状況やユニセフの支援について、映像や体験をまじえた出前講座を行っています。日時・内容・年齢などを相談しながら対応します。お気軽にご連絡ください。

水がめを持って歩くのはたいへん!



▲水がめを運ぶ体験 金ヶ崎町立西小学校

ユニセフはどんなことをしているのかな?



▲DVD学習 盛岡市立上田小学校

### 子どもたちの感想

- 水や栄養が足りない子どもたちが大勢いることがわかりました。
- 水くみのために学校に行けない子どもがいることに驚きました。
- ユニセフの支援、栄養治療食のことなどがわかりました。

## 賛助会員募集

年1回、会費をいただき、岩手県ユニセフ協会の活動を継続して支えていただく賛助会員制度です。会員のみならずには、ニュースやイベント案内をお届けしています。

**一般会員** (個人ならどなたでも) **1口 / 5,000円**

**学生会員** (18才以上の学生) **1口 / 2,000円**

**団体会員** (団体・法人・企業) **1口 / 100,000円**

**集めています!**

これらも募金になります

- ・使用済み切手
- ・書き損じはがき
- ・外国コイン



※お持ちの方は、ご連絡ください。

## ボランティア募集

ボランティアは、募金活動、学校などへの出前講座、そのほかイベントの運営を行ないます。一緒に活動するボランティアを募集しています。



▲ラブウォークの運営を手伝ってくれた盛岡大学のみなさんと

岩手県ユニセフ協会ニュース No.58

unicef

Iwate Association for UNICEF

2023年7月

【発行】

岩手県ユニセフ協会

〒020-0690  
 岩手県滝沢市土沢220-3 いわて生協本部2F  
**TEL 019-687-4460 FAX 019-687-4491**  
 e-mail : sn.iunicef\_iwate@todock.coop  
 ホームページ http://www.unicef-iwate.jp/

# コレラ25カ国で集団感染発生

## 今年25カ国が集団感染を宣言

コレラの発生は、集団感染の規模、地理的な広がり、高い死亡率により、前例のないものとなっています。今年に入ってから、25カ国が集団感染を宣言しています。世界では過去10年間、コレラの発生件数は減少していましたが、2021年に感染者が増加しはじめ、今年も続いています。多くの国で集団感染が起き、コレラが原因で死亡する人も増えています。

## コレラのリスクが高まる気候変動

気候ショックの回数や強さが増し、気温が上昇している中、水・衛生サービスの不足や安全な水源の汚染、避難する人々の数は増えています。モザンビークとマラウイを襲ったサイクロン、パキスタンとナイジェリアで起きた洪水、アフリカの角(つ)で発生した干ばつ、ミャンマーとバ

ングラデシュを襲ったサイクロンなど今後、被災地でコレラのリスクが高まる懸念されています。世界が「コレラ流行期」を迎えれば、さらに集団感染が起きるでしょう。集団感染した人々を保護し、水と衛生・保健を支援することが求められています。

## 水と衛生システムに支援を

緊急事態が起きている国の半数以上で、コレラの集団感染が確認されています。水と衛生のレベルが世界で最も低い国々でコレラが発生しているのです。水と衛生システムへの支援が必要です。安全な水・衛生設備がなければ、コレラの感染を予防・制御することはできません。困難な状況にある子どもたちが、生まれ持った権利を守られ、平和に健やかに成長できることを目指して活動するユニセフにご支援をお願いします。



▲サイクロン「フレディ」から逃れ、ブランタイアの国内避難民キャンプで避難生活をする人たちに、コレラの予防方法を伝える保健員。(マラウイ、2023年3月撮影)



▲洪水の被害にあったシンド州の村に設置されたユニセフの給水タンクで、手を洗う女の子。(パキスタン、2023年3月撮影)

## ユニセフ募金にご協力をお願いします

《郵便局》(ゆうちょ銀行) 振替口座

振替口座：00190-5-31000

(窓口の場合 手数料免除)

口座名義：公益財団法人日本ユニセフ協会

ゆうちょ銀行のサービス改定で、現金での振り込みに硬貨手数料が新設されましたが、下記の口座については窓口の場合、硬貨手数料・振込手数料ともにかかりません。

振込用紙をご希望の方は、岩手県ユニセフ協会へご連絡ください。

TEL 019-687-4460 (月~木 / 10:00 ~ 15:00)

# ごあいさつ

岩手県ユニセフ協会 会長  
岩手医科大学理事長

小川 彰



先日の理事会・評議員会で岩手県ユニセフ協会会長を仰せつかりました。会員の皆様のご協力なくして会の発展はあり得ません。ご協力のほどをお願い申し上げます。

さて、新興国を中心に、何年も続く内乱・紛争をはじめとして自然災害、気候変動による食糧不足や医薬品不足などで「命の危機」に瀕し、今すぐ緊急に支援が必要な子どもたちが、世界中で4,500万人以上にのぼると言われています。

一方、日本は豊かなのでしょうか？「身体的健康」では1位で、経済的には比較的恵まれています。しかし、厚生労働省の調査によれば、日本の子どもの貧困率は13.5%にも上るとされています。およそ260万人です。日本ですら多くの子どもが貧困状態にあると推計されています。さらに「ひとり親家庭」の貧困率は48.1%と、先進国の中でも最悪な水準だと言われています。更に、貴重な「生」を受けた国内の赤ちゃんが、2週間に1人、遺棄・虐待死をしています。こどもたちがすこやかに、幸せに暮らせる「社会」を目指して、社会を変えてゆかなければなりません。少しでもそのお手伝いができる様、微力を尽くしてゆくつもりです。

## 東根前会長に感謝状と花束贈呈

4月26日(水)第1回理事会・評議員会の役員改選により、東根前会長は、顧問に就任されました。会長を退任した東根千万億前会長に感謝状と花束を贈呈しました。東根前会長は、岩手県ユニセフ協会20周年の記念行事やウクライナ緊急募金に率先して取り組み、当協会の活動にご尽力されました。



## 岩手県ユニセフ協会役員

役職	お名前	役職名
顧問	達増 拓也	岩手県知事
顧問	三浦 宏	(株)岩手日報社相談役
顧問	東根 千万億	(株)岩手日報社特別顧問
会長	小川 彰	岩手医科大学理事長
副会長	飯塚 明彦	岩手県生活協同組合連合会会長理事
専務理事	小川 智	岩手大学学長
常務理事	石橋 百合子	いわて生活協同組合副理事長
	安藤 厚	元岩手県教育委員長
	桜田 正巳	岩手県ユニセフ協会花巻友の会会長
	佐藤 愛理	いわて生活協同組合常務理事
	沼田 聡	岩手県学校生活協同組合専務理事
	守谷 祐志	日本赤十字社理事
	吉田 敏恵	岩手県生活協同組合連合会専務理事
理事	岩館 智子	(社)岩手県PTA連合会会長
	岩間 由記子	立正佼成会盛岡教会長 東日本教区長
	及川 公子	NPO法人岩手県地域婦人団体協議会会長
	鎌田 英樹	(株)IBC岩手放送代表取締役会長
	川村 憲弘	岩手県小学校長会常任理事
	久慈 孝	岩手県中学校長会常任理事
	齋藤 秋水	(株)岩手めんこいテレビ代表取締役社長
	佐藤 工	岩手県教職員組合中央執行委員長
	猿子 恵久	岩手県町村会栗石町長
	柴崎 一恵	もりおか女性の会会長
	高橋 トシ	岩手県ユニセフ協会花巻友の会
	田中 健太郎	NHK盛岡放送局長
	谷藤 裕明	岩手県市長会会長
	畠山 大	(株)岩手朝日テレビ代表取締役社長
	福土 千恵子	(株)テレビ岩手代表取締役副社長
	本間 博	(社)岩手県医師会会長
	増子 義孝	岩手県立大学名誉教授

役職	お名前	役職名
監事	磯田 朋子	岩手県消費者団体連絡協議会事務局長
	大志田 明德	岩手県学校生活協同組合管理部長
評議員	安部 修司	(公社)日本青年会議所東北地区岩手ブロック協議会会長
	荒道 泰之	(株)川徳代表取締役社長
	伊藤 良正	盛岡ライオンズクラブ会長
	小田島 順造	岩手県私学協会会長
	小野寺 敬作	岩手県農業協同組合中央会代表理事会長
	川村 隆枝	盛岡ソントクラブ会長
	高橋 和恵	ガールスカウト岩手県連盟長
	久慈 智春	国際ソロプチミスト盛岡会長
	佐々木 秀市	日本労働組合総連合会岩手県連合会会長
	高橋 一佳	岩手県高等学校長協会会長
	高橋 克彦	作家
	高橋 富一	岩手県商工会連合会会長
	滝村 直美	いわて生活協同組合理事
	多田 英史	岩手県市町村教育委員会協議会会長
	中野 るみ子	岩手県労働組合連合会議長
	長山 洋	(社)岩手県社会福祉協議会会長
	野田 喜代志	(株)エフエム岩手代表取締役社長
	松田 恵美子	岩手県青年団体協議会会長
	宮野 裕子	(株)盛岡タイムズ社代表取締役社長
	向井田 敏宏	日本ボーイスカウト岩手連盟事務局長
	村上 智加子	岩手県高等学校教職員組合執行委員長

2023年4月26日現在(敬称略)

県ユニセフ協会設立の10年以上前から、花巻でユニセフ活動を進めてこられた常務理事の林正文氏が2月にご逝去されました。



# 第11回 5月14日(日) ユニセフ・ラブウォーク inいわて開催! 109名が参加!

共催:岩手県ウォーキング協会、盛岡市ウォーキング協会  
協賛:いわて生協、コープ共済

▲盛岡大学のみなさんによるエール



▲ウォーキング協会さんによるストレッチ体操

出発式は、石橋専務理事の挨拶、コース説明、ストレッチ体操、エール！  
ウォーキング協会さんのリードで10kmコースと5kmコースに分かれて、盛岡城跡公園から中津川河川敷の散策へスタートしました。



## 参加したみなさんの感想

- ・いつもは歩かない道、盛岡のいい景色が新鮮だった。
- ・ゴミがなくて、誰がきれいにしているんだろうと思った。
- ・身近な場所なのに、知らない世界だった。
- ・風が気持ちよくてあつという間だった。
- ・健康づくりがユニセフ募金になるんだ、と思った。

当日の募金額  
**47,408円**

参加費と募金は、日本ユニセフ協会へ送金後、世界の子どもたちへの支援になります。  
高校生29名、大学生10名と若い世代のパワーみなぎるラブウォークでした！

## ユニセフ募金贈呈ハイライト

2/12  
盛岡レオクラブ



世界のカレンダー展での益金をユニセフ募金に

3/23  
高校生平和大使  
吉田碧里さん



街頭募金で寄せられた募金をトルコ・シリアへ

4/19  
山田町立豊間根小学校



地域の田んぼで米作りを学習し、米販売の売り上げを募金に

4/25  
県立不來方高校



声楽アンサンブルコンテスト全国1位の賞金をウクライナとシリア・トルコへ